

2024 年 5 月 27 日

SUBARU 最新のIIHS前面衝突予防性能試験において 運転支援システム アイサイトを搭載した「フォレスター」が試験車両で唯一、 最高評価を獲得(米国仕様車が対象)

米国 IIHS*1 が実施した最新の前面衝突予防性能試験において、運転支援システム アイサイト*2 を搭載*3 した SUBARU 「フォレスター」(米国仕様車、2024 年モデル)が、対象となった 10 車種の小型 SUV で唯一、最高評価の「Good」を獲得しました。



フォレスター 2024 年モデル (米国仕様車)

IIHS は、自動車の安全性向上に向けた継続的な取り組みの一環として、より高速で発生する衝突事故や、二輪車や大型トラックとの衝突事故に対応するため、要件を厳格化した対車両前面衝突予防性能試験を導入しました。

新しい試験では、対車両に乗用車に加え、自動二輪車と大型トラックを追加しました。さらに、試験車両の速度においても、従来の 20km/h と 40km/h から、より速い速度の 50km/h、60km/h、70km/h へ変更しました。試験では、前方衝突警告システムと衝突被害軽減ブレーキ(AEB)システムの 2 つを評価し、前方衝突警告システムでは衝突予測時点の 2.1 秒よりも前に警告した場合に加点。衝突被害軽減ブレーキでは大幅な速度低減をした場合に加点されます。なお、対車両がトラックの評価試験においては、前方衝突警告システムのみを評価します。

アイサイトを搭載したフォレスターは、今回の試験において、対車両が乗用車の場合、すべての速度で衝突を回避。対車両が自動二輪車の場合は、50km/h と 60km/h で衝突を回避し、70km/h ではターゲットに衝突する前に平均 21.24km/h まで減速をしました。さらに、前方衝突警告システムについても、すべての試験において加点基準を満たしたことにより、最高評価「Good」を獲得しました。

フォレスターは、2007 年から 2023 年の 17 年連続で IIHS のトップセイフティピック(TSP)を獲得しています。また、今回の新前面衝突予防性能試験における試験車両唯一の最高評価の獲得により、アイサイトの予防安全性の高さがあらためて評価されました。

*1: Insurance Institute for Highway Safety (道路安全保険協会)

*2: 米国名称: Subaru EyeSight Driver Assist Technology

*3: フォレスター(米国仕様車)に全車標準装備